



令和2年10月13日
内閣府（防災担当）

令和2年度「津波防災」に関する取組について

東日本大震災を教訓に津波対策を総合的に推進するため、平成23年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、あわせて、11月5日が「津波防災の日」と定められました。さらに、同法の改正（平成29年3月）により、「世界津波の日」が同法上位置づけられました。

このため、内閣府では、津波防災の意識を高めるとともに、適切な避難行動の定着に向けて、普及啓発及び地方公共団体と連携した地震・津波防災訓練を行うこととしております。（詳細は別紙のとおり。）

なお、内閣府が主催する訓練、その他国、地方公共団体、民間企業等が実施する訓練の計画については、10月下旬に公表を予定しております。

<問合せ先>

【普及啓発に関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（普及啓発・連携担当）付

山元、土屋、安松、脇田

TEL 03-3502-6984（直通）

【訓練に関すること】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（地方・訓練担当）付

笠井、高橋

TEL 03-3503-2236（直通）

令和2年度 「津波防災」に関する取組

令和2年10月13日



内閣府

令和2年度「津波防災」に関する取組について(内閣府)

I. 啓発イベントの実施

◆ 日時

11月5日(木) 14:00~17:00

◆ 場所

オンライン

◆ 内容

○基調講演：今村文彦 東北大学 災害科学国際研究所 所長

○津波防災に取り組む地域の紹介&意見交換

ファシリテーター

矢守克也 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授

登壇者

加藤孝明 東京大学 生産技術研究所都市基盤安全工学

国際研究センター 教授

鍵屋 一 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授

中尾晃史 内閣府政策統括官(防災担当)

付参事官(普及啓発・連携担当)

地区防災計画策定地区等より数名

※ 上記は全て現時点における予定であり、
変更の可能性がございます。



2020年11月5日(木) 14:00~17:00

津波災害のリスクが切迫する地域では、住民等が、土地や生業などの地域特性を踏まえ、要配慮者の住民や訪問滞在者などあらゆる人が津波災害から逃れられるよう、誰一人取り残さない津波防災の合言葉の下、日々防災活動に取り組んでいます。
そんな地域の取り組みにスポットライトを当て、みんなで地域の津波防災について考えるイベントです。

1. 当日のプログラム(予定)

基調講演 今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 所長
津波防災に取り組む地域の紹介&意見交換

ファシリテーター 矢守 克也 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授

登壇者 鍵屋 一 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授

加藤 孝明 東京大学 生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター 教授

阪本 真由美 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授

中尾 晃史 内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(普及啓発・連携担当)

地区防災計画策定地区等より数名

2. 開催概要・申込方法

開催形式：オンライン開催 (Zoom) 先着500名・参加費無料

申込方法：参加希望者は以下の申込フォームからお申し込み下さい。

<https://bit.ly/330BJns>

申込者には後日、ZoomのURLをご案内します。

申込期限：2020年11月3日(火)

(定員に達した場合は、申込期限より前に締め切らせていただく場合があります)



こちらのQRコードからも
申込フォームにアクセスできます

お問い合わせはNTTデータ経営研究所 安生 (anjon@nttdata-strategy.com) までご連絡ください。
個人情報の取り扱いには、株式会社NTTデータ経営研究所のプライバシーポリシーに則り管理いたします。 <http://www.keieiken.co.jp/information/policy.html>

II. 普及啓発活動

◆ 啓発ツールの配布

- ・ポスター、ピンバッジ、POSレジディスプレイ(全国のコンビニ、スーパー等のレジ画面)における広告
- ・特設サイト(<http://tsunamibousai.jp/>)における広告

◆ 地区防災計画策定支援

- ・全国17都道府県において、地区防災計画策定の取組を支援。

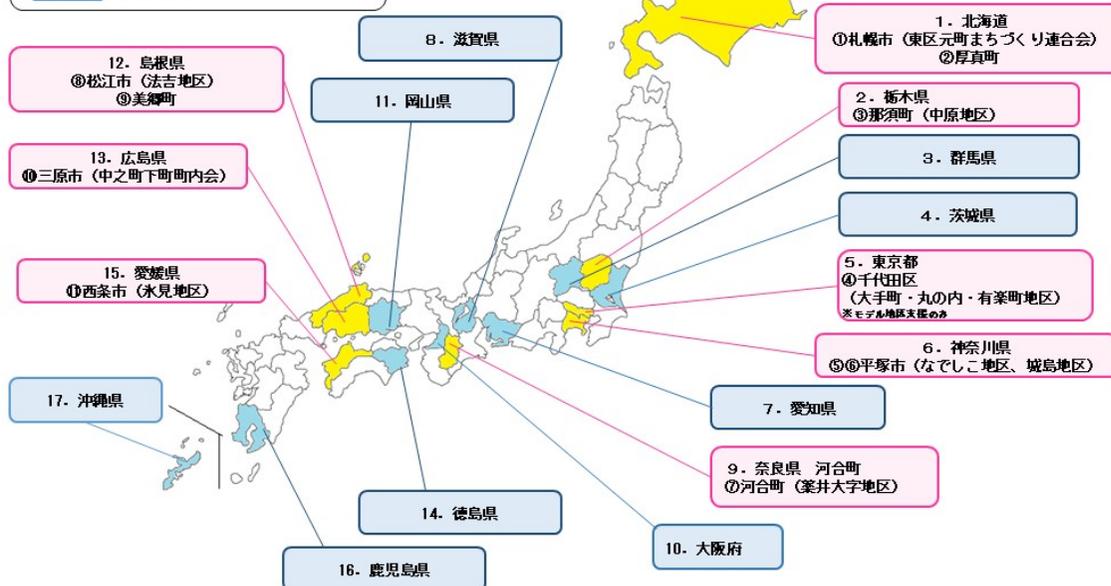
地区防災計画制度

地区居住者等が、地区防災計画(素案)を作成し、市町村地域防災計画に地区防災計画を定めるよう、市町村防災会議に提案できる制度。

令和2年度 地区防災計画作成促進に向けた研修・モデル地区支援の実施地区(津波を含む)

座学研修：17都府県
モデル地区支援：11地区

- 座学研修及びモデル地区
- 座学研修



内閣府

あらかじめ確認しよう

- ・津波のリスクの高い地域
- ・津波の到達時間
- ・指定緊急避難場所など安全な場所
- ・避難ルート
- ・非常用持ち出し品 など



このイラストは、国土交通省の「津波防災ポスター」の一部です。イラストの著作権は、国土交通省に帰属します。

訓練内容

今年度の特徴

今年度は、コロナ感染症の状況を踏まえ、少人数で実施する避難計画作成ワークショップの開催や訓練実施計画書の作成等を中心とした訓練を行います。

シェイクアウト訓練

訓練開始合図（防災行政無線等）で、自らの身を守る安全確保行動を1分から数分間実施

津波避難訓練

防災行政無線による情報伝達訓練等を活用し、最寄りの避難場所等へ避難



※日程は、避難訓練等の実施予定日

北海道エリア

- 10月31日（土）
- 北海道古平町

中国エリア

- 11月13日（金）
- 岡山県玉野市

- 11月8日（日）
- 島根県出雲市

東海エリア

- 11月5日（木）
- 三重県木曽岬町

近畿エリア

- 11月15日（日）
- 和歌山県海南市

四国エリア

- 11月8日（日）
- 高知県中土佐町



(参考)「津波防災の日」・「世界津波の日」について

東日本大震災（2011年3月11日）

- 津波は、ひとたび起きれば、その被害は甚大であり、被災範囲も広いのが特徴です。東日本大震災では、津波や津波からの避難方法を知らないために多くの方が犠牲になりました。



津波による被害(宮城県気仙沼市)

11月5日「津波防災の日」

- 東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律(2011年6月)」により、11月5日が「津波防災の日」として制定されました。
- これは、嘉永7年(1854年)11月5日の安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。



稲束(稲むら)に火をつける濱口梧陵

11月5日「世界津波の日」

- 「第3回国連防災世界会議」や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のフォローアップとして、2015年12月、国連総会で、我が国をはじめ 142 カ国が共に提案し、11月5日を「世界津波の日」として制定する決議が満場一致で採択されました。
- 「津波防災の日」である11月5日が平成27年12月の国連総会決議において「世界津波の日」とされたことも踏まえ、平成29年3月に「津波対策の推進に関する法律」において「世界津波の日」に位置付けられたほか、国際協力の推進に資するよう配慮する旨の規定が追加されました。



第70回国連総会本会議の様子

11月5日は 津波防災の日 世界津波の日

今年はオンライン
開催！



令和2年度「津波防災の日」スペシャルイベント

2020年11月5日（木） 14:00～17:00

津波災害のリスクが切迫する地域では、住民等が、土地や生業などの地域特性を踏まえ、要配慮者の住民や訪問滞在者などあらゆる人が津波災害から逃れられるよう、誰一人取り残さない津波防災の合言葉の下、日々防災活動に取り組んでいます。

そんな地域の取り組みにスポットライトを当て、みんなで地域の津波防災について考えるイベントです。

1. 当日のプログラム（予定）

基調講演 今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 所長

津波防災に取り組む地域の紹介&意見交換

ファシリテーター 矢守 克也 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授

登壇者 鍵屋 一 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授

加藤 孝明 東京大学 生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター 教授

阪本 真由美 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授

中尾 晃史 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

地区防災計画策定地区等より数名

2. 開催概要・申込方法

開催形式：オンライン開催（Zoom） 先着500名・参加費無料

申込方法：参加希望者は以下の申込フォームからお申し込み下さい。

<https://bit.ly/330BJns>

申込者には後日、ZoomのURLをご案内します。

申込期限：2020年11月3日（火）

（定員に達した場合は、申込期限より前に締め切らせていただく場合があります）



こちらのQRコードからも
申込フォームにアクセスできます

お問い合わせはNTTデータ経営研究所 安生（anjon@nttdata-strategy.com）までご連絡ください。

個人情報の取り扱い、株式会社NTTデータ経営研究所のプライバシーポリシーに則り管理いたします。 <http://www.keieiken.co.jp/information/policy.html>